

当社取組が「食品産業もったいない大賞」 農林水産省食料産業局長賞を受賞

～5社連携の飼料化食品リサイクルループ認定が評価される～

株式会社トリドールホールディングス（東京都渋谷区、代表取締役社長 兼 CEO 栗田 貴也）が実施している外食事業者5社共同の食品リサイクルループ構築の取組が、2020年12月22日、第8回食品産業もったいない大賞（主催：公益財団法人 食品等流通合理化促進機構、協賛：農林水産省）の農林水産省食料産業局長賞を受賞しました。



「食品産業もったいない大賞」は、農林水産省の補助事業であり、食品産業の持続可能な発展に向け、「省エネルギー・CO2削減」「廃棄物の削減・再生利用」「教育・普及」などの観点から、顕著な実績を挙げている食品関連事業者ならびに食品産業によるこのような取組を促進・支援している企業、団体および個人を対象に表彰し、食品産業全体で、地球温暖化・省エネルギー対策及び食品ロス削減等をより一層促進することを目的としています。

当社は、2020年7月、愛知県名古屋市内の丸亀製麺2店舗で、農林水産大臣、環境大臣ならびに厚生労働大臣による食品リサイクル法に基づく食品リサイクルループ（再生利用事業計画）認定を排出事業者として外食事業者4社（株式会社セブン&アイ・フードシステムズ様、株式会社松屋フーズ様、リンガーハットジャパン株式会社

様、ワタミ株式会社様 以上 50 音順)と合同で取得しました。この取組は公益財団法人 Save Earth Foundation 様が事務局となり、外食事業者が共同で食品リサイクルループを構築し認定に至ったものであり、外食事業者が飼料化で連携した食品リサイクルループ認定では全国初の事例となります。

今回の受賞は、上述のように外食事業者が企業の壁を越え、地域の中で共同して食品循環資源のリサイクルに取組み、それを鶏卵に買い戻すという形式で実現したことが高く評価されたものです。また、同地域にて、今後も参加店舗の拡大を図るとともに、他地域に展開していく計画があることについても、評価をいただきました。

当社では、今後も SDGs 活動の一環として、食品リサイクルループの参加店舗の拡大と、新たな地域での構築を進めることで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【概要】

●受賞テーマ

全国初！外食事業者 5 社連携による飼料化の共同食品リサイクルループ構築
～食のサーキュラーエコノミーを目指して～

●受賞取組の内容

外食事業者 5 社 36 店舗合同での飼料化による食品リサイクルループの構築および農林水産大臣、環境大臣、生労働大臣による食品リサイクル法に基づく「食品リサイクルループ（再生利用事業計画）」の認定。

今回の取組によって、収集運搬の効率化と年間約 170 トンの食品循環資源が約 34 トンのエコフィードとして養鶏場で使用され、生産された鶏卵のうち約 44 トン（約 70 万個）を外食事業者が買戻し、お客様に提供している。

●参加事業者（業種別、五十音順）

外食事業者：株式会社セブン&アイ・フードシステムズ、株式会社トリドールホールディングス、株式会社松屋フーズ、リンガーハットジャパン株式会社、ワタミ株式会社

収集運搬業者：株式会社岩田清掃、三和清掃株式会社

再生利用事業者：中部有機リサイクル株式会社

配合飼料メーカー：日本農産工業株式会社

生産者：サンエッグファーム株式会社（三州食品グループ）

●今後の展開

今回の取組をモデルとして、群馬県東部、関西、新潟などで新たな食品リサイクルループの構築を計画しています。



※今回の取組みは、国連サミットで採択された SDGs「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」のうち、2、12、17 番の目標達成に貢献いたします。